

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築工学実験						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/必修科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	津田和明						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋た鉄筋コンクリートなど建築構造の試験法を習得する。(B1) ・コンクリートや木材など建築材料の性質を理解し、説明できる。(B2) ・熱、光、空気、音など建築環境の性質を理解し、説明できる。(B3) ・試験・計測器の取り扱い方を習得する。(A2) ・測定した結果を分析し適切に評価してレポートをまとめることができる。(A7) 						
日程と内容	Aクラス 9/18 導入講義 9/25 建築環境 10/2 建築環境 10/9 建築構造 10/16 建築構造 10/23 建築構造 10/30 建築生産 11/6 建築生産 11/13 建築生産 11/20 建築生産 11/27 建築環境 12/4 建築環境 12/11 建築環境 12/18 建築生産 1/8 まとめ	Bクラス 導入講義 建築生産 建築生産 建築生産 建築生産 建築環境 建築環境 建築環境 建築生産 建築環境 建築構造 建築構造 建築構造 建築環境 まとめ					
成績評価基準	定期試験		実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	100%	プレゼンテーション				
	課題		計			100%	
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋た鉄筋コンクリートなど建築構造の試験法を習得する。(B1):達成できた。 ・コンクリートや木材など建築材料の性質を理解し、説明できる。(B2):達成できた。 ・熱、光、空気、音など建築環境の性質を理解し、説明できる。(B3):達成できた。 ・試験・計測器の取り扱い方を習得する。(A2):達成できた。 ・測定した結果を分析し適切に評価してレポートをまとめることができる。(A7):達成できた。 						
反省点	大半の学生は、まじめに取り組んでいたが、一部の学生は授業態度に問題があり、レポートも自分の力でやらず、人のものを写しているのものも散見された。						
来年度の計画	レポートは写しにくい内容とし、学生に自分の力で対応するようにさせたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は、8.2点であった。しかし、学生がどの程度学べたのか、疑問である。						
履修登録者数	78名	定期試験 受験者数	78名	合格者数	69名	合格率	88%